

春霞と花粉症の季節。和歌山の高野山を歩いた。質素な風情の金剛峰寺に加え、行き帰りに読んだ竹内信夫著「空海の思想」が心に響いた。

『発菩提心』『如実知自心』過去から現在のあらゆる命によって支えられて今自分がここに存在し、その自心を知ろうと願うことが空海の真言密教の第一条件らしい。その内省の過程で現実を見る価値観に転換が生じる。

『一切衆生是我四恩』わたしを生かす生命世界全体への恩返しのがんがエネギーとなり、『父母所生身速証大覚位』それを実践するのはあくまで父母から頂いたこの肉体そのものであり、『声字分明而実相顕』手段としては、遍く照らし自らにも存する大日如来を呼び出す呪文真言(マントラ)を、ひたすら正しく唱えることで『即身成仏』内なる大日如来を自覚することだ。

空海が作った四国八十八か所は、その長距離を歩き体を酷使し、大自然に触れ、その営みの一部と化す中で、各々が上記の「こころ」の展開を果たすための装置であると思う。そこで得るものは各人それぞれ異なるはず。「発菩提心」を抱いたランニングハイといったところかな。おそらくポイントは正しい方向に向かってしつこく心と体を用いて実践し続ける態度だと思う。そこには指導者が必要だ。

空海の教えは日本人の性格の一部として生き残り今に至る。狭い考えだが、空海の教えを医療に応用するならば慢性疾患の生活指導につながるのではないかと私には思える。

ハーブ内科皮フ科 理事長 竹内 秀俊

【訪問看護】

あっ!!という間に過ぎようとしている2月中旬、ハーブ訪問看護に新しい仲間が増えました。同行訪問を繰り返しながらみなさんに顔を覚えていただいています。楽しみにしてください。

総勢5人(常勤3人、パート2人)力を合わせて頑張ります。



【運動療法デイサービス】

今年も二月のはじめに節分会を行いました。節分といえばやはり豆まきですね! デイサービスでもこわい鬼の顔に向けてボールをぶつけるレクリエーションを行い、盛り上がりました。

「鬼は〜外! 福は〜内!」のかけ声とともに、今年の福を願って皆様に思い切りボールを投げてもらいました。両手いっぱいボールを抱えて投げる姿は楽しい光景です。

節分といえども寒さ厳しいこの時期に、皆様の活気と迫力が想像以上で驚きました! 節分からだいぶ経ち、最近になってやっと少しずつ春らしい日が増えてきて皆様から喜びの声が聞こえています。



【頭の体操コーナー】

ハーブデイサービス・グループホームでは、認知症予防・維持改善のため、くもんの学習療法を取り入れています。

今回の頭の体操は、職員NとHさん、Yさんの3人です。どんな話をしているのかしら? と聞き耳をたててみると、“落の臺(とう)”の話でした。落の臺は、春になると出てくる落の新芽ですね。Hさんは『落の臺は食べたことないけど、落の葉は佃煮にして食べたよ〜』とのこと。Yさんは落とアサリと一緒に煮たそうです。料理上手の職員Nは、落味噌の作り方を伝えていました。

ちなみに作り方は、落の臺を半分に切り、塩で湯がき、灰汁抜きをします。それを細かくきざんで、フライパンにサラダ油を入れて炒り、砂糖・赤味噌・みりんを入れて煮詰めるとか。皆さんも春の訪れを感じてみてください。



ホームページをリニューアルしました! ぜひご覧ください。

<http://ha-bu.net/>

ハーブ内科

検索

発行元: 医療法人ハーブ内科
(株)ハーブライフケア

所在地 知多郡阿久比町横松宮前 67
TEL 0569-49-2752/FAX 0569-49-2753